

環境経営レポート

[2024年度 2024/4~2025/3]



株式会社 ユウキ工業

2025年6月27日

1. 株式会社ユウキ工業の事業概要

(1) 事業者名及び代表者名

株式会社 ユウキ工業
代表取締役社長 北澤 芳恵

(2) 所在地

〒252-0254 神奈川県相模原市中央区下九沢 1093-1

(3) 対象範囲 : 全社 全組織

金属加工部品の製造及び販売

(4) 環境管理責任者

北沢 隆和

(5) 担当者連絡先

〒252-0254 神奈川県相模原市中央区下九沢 1093-1

連絡担当者: 北沢 隆和

T E L : 042-700-8070 F A X : 042-779-8702

E-mail : info@yuki-k.co.jp

(5) 事業概要 (2025年4月1日現在)

①主な事業: 金属加工部品の製造及び販売

②資本金: 1000万円

③従業員数: 26人

④床面積: 998.27 m²

⑤生産量

	2022年度	2023年度	2024年度
生産量 (トン)	133	165	134



2. 環境経営方針

－株式会社ユウキ工業 環境経営方針－

当社は、金属加工部品の製造業者として、地球環境・地域環境に配慮し、環境保全活動を推進し、次に示す環境経営方針を定める。

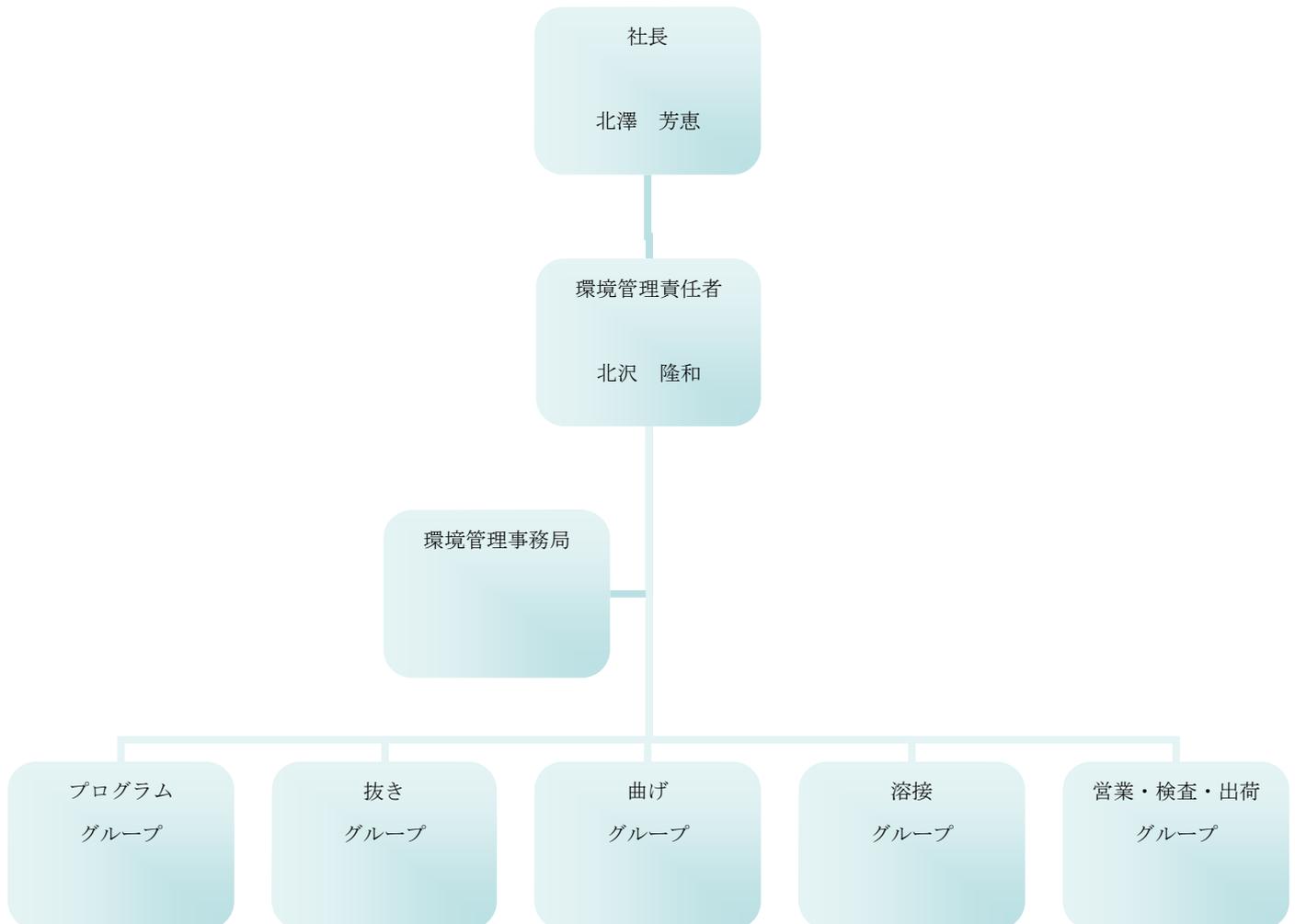
1. 環境目経営標を設定し、主に以下の項目を取組むことによって、環境負荷を改善する。
 - (1) スクラップ金属の削減
 - (2) 不良削減
 - (3) 可燃ゴミの削減
 - (4) 電力使用量の削減
 - (5) ガソリンの使用量削減
2. 関連する環境関連の法規制、条例及びその他の要求事項を順守する。その他の要求事項では、有害物質含有禁止に関する顧客要求に対し、管理を徹底して遵守することを重点項目とする。
3. 環境経営システムを確立し、見直しを行って、その継続的改善及び汚染の予防を行い、維持する。
4. 従業員に教育を行い、全員参加による環境保全活動を実行する。
5. 環境経営方針を含めて記述した環境経営レポートを作成し、利害関係者等からの要求に応じて配布、公表し、社内外への情報提供を行うことによって、積極的な環境コミュニケーションに取り組む。

2020年6月15日改訂
株式会社 ユウキ工業
代表取締役社長 北澤 芳恵



3. 環境経営システム組織体制

株式会社ユウキ工業 環境経営システム組織図
(2025年4月1日現在)



4. 環境負荷実績

項目	2022年度	2023年度	2024年度
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	165,514	157,694	153,393
水使用量 (m ³)	426	437	471
廃棄物等排出量 (t)	53.42	62.52	47.78
総物質投入量 (t)	189	228	181

電力のCO₂排出係数は「0.441kg-CO₂/kwh」(2020年度 東京電力エナジーパートナー(株)調整後排出係数)を使用。



5、環境経営目標

株式会社ユウキ工業 2024年度～2026年度 環境経営目標

大項目	項目名	2024年度	2025年度	2026年度
廃棄物削減	金属スクラップの削減	購入金属材料に対する金属スクラップ比率を24%以下にする (2008年度 13.74%)	購入金属材料に対する金属スクラップ比率を23%以下にする (2008年度 13.74%)	購入金属材料に対する金属スクラップ比率を22%以下にする (2008年度 13.74%)
〃	不良削減	月平均の発生件数を前年度実績より3件減らす。	月平均の発生件数を前年度実績より3件減らす。	月平均の発生件数を前年度実績より3件減らす。
〃	可燃ごみの削減	2023年度対比1%削減とする	2024年度対比1%削減とする	2025年度対比1%削減とする
CO2削減	ガソリンの使用量の削減	2023年度対比総量1%削減	2024年度対比総量1%削減	2025年度対比総量1%削減
〃	電力使用量の削減	売上高当り2023年度実績に対し、1%削減	売上高当り2024年度実績に対し、1%削減	売上高当り2025年度実績に対し、1%削減
〃	CO2総排出量削減	2023年度比1%削減	2024年度比1%削減	2025年度比1%削減
節水	水使用量の削減	2023年度対比現状維持とする	2024年度対比現状維持とする	2025年度対比現状維持とする
その他	5S活動の推進 健康経営	継続実施	継続実施	継続実施
化学物質削減	洗浄液の代替品検討	代替品の調査	代替品の調査	代替品の調査

※「化学物質削減」に関し、PRTR法対象物質については、少量使用している。使用量削減より「代替」を目指しており、数値目標を設定していない。



6. 主要な環境経営計画の取り組み内容

株式会社ユウキ工業 2024年度 環境経営計画の主な実施項目

項目名	主な施策
金属スクラップの削減	<ul style="list-style-type: none">・作業標準書見直し・作業改善を図る
不良削減	<ul style="list-style-type: none">・不良件数の削減
可燃ごみの削減	<ul style="list-style-type: none">・分別の徹底
ガソリンの使用量の削減	<ul style="list-style-type: none">・効率の良い運行をする
電力使用量の削減	<ul style="list-style-type: none">・エネルギー・水使用がトラインの実践（エアコンの管理、照明の管理、待機電力の管理等）・節電の管理・作業標準書見直し・不良削減・作業改善を図る・機械メーカーによる設備メンテナンス及び各担当者による設備メンテナンスによる生産効率向上
CO2 排出量の削減	<ul style="list-style-type: none">・電気量・灯油・ガソリン使用量の削減
水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none">・エネルギー・水・紙の使用がトライン(YE-0802)の実践（台所・トイレの節水、掃除時の節水等）
社内エコ活動・健康経営	<ul style="list-style-type: none">・5S 活動の継続実施 ラジオ体操実施
化学物質削減	<ul style="list-style-type: none">・代替品の調査



7 環境経営目標及び環境経営計画の取組結果の実績と評価
及び次年度の環境経営目標及び環境経営計画

株式会社ユウキ工業 2024 年度の取組結果と評価

No.	実施項目	評価	目標達成度	実施内容と分析、是正・予防処置
1	金属スクラップの削減	×	目標： スクラップ率 24%以下 2024 年度実績： 25.8%	未達成ではあるが、スクラップ率は低下傾向にある。日常的に「歩留まり」、「効率」について考慮した作業の成果が出ていると思われる。受注内容に依り大きく変化するが、達成に向けて活動する。
2	不良削減	×	目標:月発生件数前年度 実績 3 件減 2024 年度実績： 月 1.4 件減	年間を通し、同傾向の不良が続いている。各工程での不良内容を分析し同様の不良を撲滅出来る様対策を講じる。他のグループからの提案も受け、削減へと繋げたい。
3	可燃ごみの削減	○	目標：2023 年度排出実績 に対して 1%削減 2024 年度期実績： 11%削減 2023 年度 652.6kg 2024 年度 577.6kg	数年に渡る分別を、更に徹底した効果と思われる。 当社の製造過程は、電子化が困難なうえ、配送品も多い。削減を継続する事に懸念があるが、当社は「継続が重要」と考えている。今後もリサイクル等を意識した活動を継続する。
4	社用車ガソリン使用量の削減	○	目標：2023 年度比総量 1%削減 2024 年度実績： 8%削減 2023 年度： 2,560.7ℓ 2024 年度： 2,367.3ℓ	受注の状況に依り、大きく変化はするものの大幅に削減する事が出来た。少量の納品時には燃費の良い車種を選択する等の積み重ねも寄与したと思われる。 次年度もエコ 10 ドライブの再確認等に依り、削減活動を継続する。



5	電力使用量の削減	○	<p>目標：売上高当たり 2023 年実績に対し、1%削減</p> <p>2024 年度実績： 6%削減</p> <p>2023 年度:0.61 kwh/千円</p> <p>2024 年度: 0.58kwh/千円</p>	<p>機械の省電力化や高スピード性能等を有効に活用できた結果と思われる次年度も、生産性の見直しや、再製作が必要となる不良の削減を意識しながら、更なる削減を意識継続する。</p>
6	CO2 排出量の削減	○	<p>目標:2023 年度比 1%削減</p> <p>2024 年度実績： 3%削減</p> <p>2023 年度期:157,716 Kg-CO2</p> <p>2024 年度:153,389 Kg-CO2</p>	<p>CO2 発生に関わる項目全てが減少となり、目標達成となった。CO2 発生の大半を占める電気使用量は、受注の状況や気候変動（特に空調使用量）に伴う変動が予想される。次年度は、油断する事なく削減活動を継続する。</p>
7	水使用量の削減	×	<p>目標：2023 年度対比 現状維持(総量)</p> <p>2024 年度実績： 8%増加</p> <p>2023 年度：437 m³</p> <p>2024 年度：471 m³</p>	<p>増加の原因は下記 2 項目と思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏季の高温により、沸式洗浄機の“冷却水の入替え”が増加した。 ・水を多量に使用する“洗浄作業が必要な製品”の受注が増加した。 <p>次年度も同様の傾向が継続すると思われるが、引き続き節水を心がける。</p>
8	社内エコ活動 健康経営	○	<p>5 S 活動の推進</p> <p>ラジオ体操実施</p>	<p>健康経営の情報提供を定期的を実施した。ラジオ体操、5 S 活動も継続実施する事が出来た。</p> <p>次年度も同内容の活動を継続し、健康経営に関する活動を検討したい。</p>
9	化学物質削減	△	<p>洗浄液の代替品を検討</p>	<p>継続的な調査は実施しているが、同等の代替品は見つかっていない。</p> <p>次年度も専門会社からの情報収集を行っていく。</p>



8. 次年度の環境経営目標

大項目	項目名	2025 年度	2026 年度	2027 年度
廃棄物削減	金属スクラップの削減	購入金属材料に対する金属スクラップ比率を25%以下にする (2008 年度 13.74%)	購入金属材料に対する金属スクラップ比率を24%以下にする (2008 年度 13.74%)	購入金属材料に対する金属スクラップ比率を23%以下にする (2008 年度 13.74%)
〃	不良削減	月平均の発生件数を前年度実績より 3 件減らす。	月平均の発生件数を前年度実績より 3 件減らす。	月平均の発生件数を前年度実績より 3 件減らす。
〃	可燃ごみの削減	2024 年度対比 1%削減とする	2025 年度対比 1%削減とする	2026 年度対比 1%削減とする
CO2 削減	ガソリンの使用量の削減	2024 年度対比 総量 1%削減	2025 年度対比 総量 1%削減	2026 年度対比 総量 1%削減
〃	電力使用量の削減	売上高当り 2024 年度実績に対し、1%削減	売上高当り 2025 年度実績に対し、1%削減	売上高当り 2026 年度実績に対し、1%削減
〃	CO2 総排出量削減	2024 年度比 1%削減	2025 年度比 1%削減	2025 年度比 1%削減
節水	水使用量の削減	2024 年度対比 現状維持とする	2025 年度対比 現状維持とする	2026 年度対比 現状維持とする
その他	5S 活動の推進 健康経営	継続実施	継続実施	継続実施
化学物質削減	洗浄液の代替品 検討	代替品の調査	代替品の調査	代替品の調査



9. 環境関連法規への違反

(1) 該当環境関連法規と違反状況, 及び訴訟等の有無

No.	法規制等の名称	評価	違反内容
1	下水道法及び 相模原市下水道条例	○	なし
2	廃棄物処理法	○	なし
3	相模原市廃棄物の減量化、資源 化及び適正処理等の推進に関 する条例	○	なし
4	騒音規制法 及び神奈川県生活環境の保全 等に関する条例	○	なし
5	振動規制法 及び神奈川県生活環境の保全 等に関する条例	○	なし
6	家電リサイクル法	○	なし
7	自動車リサイクル法	○	なし
8	消防法 及び 相模原市火災予防条例	○	なし
9	相模原市開発事業基準条例	○	なし
10	神奈川県生活環境の保全等 に関する条例	○	なし
11	高圧ガス保安法	○	なし
12	RoHS 指令	○	なし
13	グリーン調達基準	○	なし
14	フロン排出抑制法	○	なし
15	労働安全衛生法	○	なし
16	自動車 NOx.PM 法	○	なし

上記の通り環境関連法規への違法はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。又、訴訟等もありません。



10. 代表者による全体評価と見直しの結果(2025年6月27日)

(1) 環境経営方針

環境経営方針は継続する。

(2) 環境経営目標及び計画

前年度と同様の活動が未達となっているが、全て当社の事業活動では必要な項目である為、継続の上実施する。

(3) 社会・取引先・法律等への対応

法規制については年間を通じて遵守できた。新たな法規制や変更点があれば情報を入手し、対応できる体制を維持する。

(4) 実施体制及びシステムのその他の要素

今年度は事務局メンバーを交代した。新たな意見を聴取しながら僅かでも活動の見直しを行う。次年度も同メンバーの体制で今年度の活動を継続する。

以上

